

エシカルをいつでも目の前に感じられる場を。

京都大学経済学部

篠原七子

### ▶エシカル消費に感じる違和感

エシカルに関心のある方とお話ししている中で、エシカルの普及を考えた際に困難だと感じる理由には、以下のようなものがあります。「エシカルの定義が曖昧」「社会や環境が大きすぎて、自分の毎日の選択がちっぽけに思えて継続しない」「生活の中でできることを調べるのに時間がかかる」「エシカルに関して本当にエシカルなのか？などの疑問が生じたときに相談するところがない」など、様々な心情が浮かんで消えています。

「エシカルの定義が曖昧」に関しては、今年度、卒業論文で「倫理的消費に取り組む個々人のきっかけの違い」をテーマにして執筆した際に感じたことです。エシカルな商品の購入の消費者の動機には、社会貢献意識から購入する人と、ブランド品として購入する人、また原料が自然由来で体にいいから購入する人な

ど消費者の様々な購買理由があることに着目し、調査を行いました。これだけエシカルとは消費者側から見ても捉え方が多様であることがエシカルを定義する難しさでもあり、エシカルへの入り口がたくさんある点で魅力でもあるなと感じています。

## ▶エシカルを目の前に

エシカルに関する日々の違和感から、私は「あなたのエシカルを見つける」という活動を始めました。現在、61人が参加しています。私が学生ということもあり、20代の若者を中心に、様々な年代の方に参加していただいています。

そこでは「生活を共に創る仲間を増やす」ことを目指して、slack というツール内で、参加者個々人が日々の生活で行なっていることを、リアルタイムで Twitter のように投稿してもらっています。実際にエシカルについて実践している方の生の声を聞けることで「自分ごと」という感覚を感じてもらえたり、今まで知らなかったユニークな商品の投稿から「面白い」という感情がエシカルと結びつくきっかけになっています。また、この slack の参加することで「自分の生活でエシカルを探すようになった」などの意識の変化も生まれています。この活

動を行う中で、私たちが大切にしたいのは、「情報のリアルさ」です。エシカルに関して様々な情報が溢れる中で「何ができるのか」と「実際に何が行われたのか」を切り分け、後者を重視しています。そうすることで投稿する側も見る側も当事者意識を実感できると考えています。社会貢献は、大企業や社会起業家、政府、NPO や NGO など、何か特別な「活動」をするという認識ではなく、私たちは常に社会の中で生きている一生活者であることを自覚して日々の選択も大切に生きて欲しいし自分たちもそうして生きたいと思っています。

### ▶実際の投稿例

実際に行われている投稿では「私は、こう考えて、〇〇を買った」という内容が、個人のエシカルに対する想いや商品を売っている店舗情報や企業 HP とともに投稿されています。(実際には投稿者のアイコンも表示されていますが、今回は省略しました)

【大阪にもあった！】【量り売りのお店】

今日友人がいったお店で私にシェアしてくれました！  
焼き菓子中心ですが、アーモンドとかを量り売りで売っていて、普通に袋で売られているのですが、容器を自分で持っていったらそれに詰めてくれるそうです！

私がエシカルに興味あるんだ〜ってよく聞いていたので教えてくださいました😊

ごめんなさい私はまた今度行くので、#食事にのせておきます！（編集済み）



谷町六丁目と谷町九丁目、松屋町駅の丁度中間地点に立地している“杏”さん。アーモンド菓子を中心とした焼き菓子のお店です。ビルやマンションの間に突如現れるお洒落な建物にびっくりすると同時に必ずテンションがあ

【いつも行くお店では】

お昼ご飯はよく家の近くのケルンで買うのですが（食堂で長時間並びたくないゆえ）、毎回ケルンの袋にいれてもらって、毎回その袋を捨てちゃうのがうーんって思って、この前から紙袋とか小さいミニバックにいれてもらって持ち運ぶようにしました👛 コンビニのビニール断るのと同じ感じです👍



👍 4 🤗

【繰り返し使えるマスク】

やって来ました花粉の季節。  
使い捨てマスクから洗って使えるマスクへ。  
洗って繰り返し使うことに少し抵抗があるけど、物は試しと使ってみますー。



👍 4 🤗 2 🤗

👉 17 件の返信

【洗剤不要！？洗濯マグちゃん🐡】

マグネシウムにより水素水を生成することで、水の洗浄力をあげてのお洗濯🧼  
衣服だけでなく、洗濯槽も、排水までキレイになる。その結果、川や海、環境までキレイになる。  
すぎ洗いも1度で済むから水道代も節約👍

環境にも人にもお財布にも優しいマグちゃんです〜



これらの日常を、食事、キッチン、洗面所、衣類、など計 12 種類のカテゴリ

一別に様々な投稿がなされています。実際の商品の紹介が行われ、その投稿がき

っかけで商品の購入が行われるなど、微量ではありますが、PR や広報にお金を割くことが難しい企業の助けになる面もみられます。

## ▶今後の動き

私はこの活動を広げていくことがエシカルの実践率向上のために重要だと思っています。そのために、slack というツールよりも使いやすい web アプリ/サイトや iPhone/Android アプリの作成を行う予定です。

また、上記で例に挙げたような日常の投稿の他にも、「イベント情報」「エシカル関連の疑問」や、オフ会としてこの slack 参加者が実際に会ってお互いの意見を共有する場を設けています。このようリアルな繋がりからイベントや何か新しいアイデアが浮かぶきっかけ作りをしていきたいと思っています。

## ▶最後に

Slack には様々な想いをを持った学生や社会人の方が年齢関係なく参加しています。参加者が増えるほどこのコミュニティの価値は上がります。年齢や立場問わず参加できることで、みんなで今後の社会を考える繋がりができればと思います。

私自身、「エシカル」という言葉を知ってまだ数年です。これまでエシカルとい

う分野を支えてくださっていた方々には本当に感謝いたします。まだ普及途中であるこの時期だからこそ、縦と横の繋がりを作っていくことは、エシカルが今後広がっていくことへ大きく寄与すると僭越ながら思います。この slack へ参加してくださる方は篠原 ([chanaaaaly@gmail.com](mailto:chanaaaaly@gmail.com)

) までご連絡ください。経験も知識も、資金面も非力ですので、お力添えいただけると幸いです。最後まで読んでいただきありがとうございました。